

# 都 退 教 協 だ よ り

No.315号

2023年10月18日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

## 紅葉の鎌倉を散策しませんか 11月29日秋の交流会

今年の秋の交流会は、鎌倉在住の会員、中村光夫さんにご案内していただきます。

鎌倉の紅葉は11月下旬が見ごろだそうです。晩秋のひと時を、鎌倉散策で楽しみましょう。

今回は、それほど歩かなくても楽しめる、鎌倉大仏から長谷寺、海の絶景が見える展望台から由比ガ浜のコースになるそうです。鎌倉らしく紅葉から海辺まで楽しめます。是非ご参加ください。



日 時 11月29日(水)午前10時

場 所 鎌倉駅東口集合

※弁当と飲み物を持参してください。鎌倉駅東口の東急ストアに美味しいお弁当があるそうです。

コース

鎌倉駅東口集合—(江ノ電)—長谷駅—長谷大仏—長谷寺(長谷観音)—展望台—由比ガ浜散策—(江ノ電)—鎌倉駅

連絡先

谷口 090-5202-0117



## 高齢者の所得格差拡大！

所得格差が広がっている実態が厚生労働省の「所得再分配調査(8/22 公表)」で明らかになったと経済ジャーナリストの鷲尾香一さん

が報じている。特に、母子世帯と高齢者の格差が広がっている。所得格差はジニ係数を指標としている。(0→格差が少ない～大きい→1)

40～44 歳の所得格差はジニ係数 0.29 だが 75 歳以上は 0.74。つまり高齢者になるほど貧富の格差が大きくなっている。実際、生活保護受給世帯の 55%以上が高齢者世帯だ。

また、母子世帯は、所得は上がっているが、再分配所得のジニ係数は悪化している。再分配所得は、社会保障や税の再分配機能を加味

したのですが、社会保障の機能低下が見て取れる。

政府も日銀も物価の高騰に対して手が打っていない中、10 月から多くの品目が値上がった。選挙目当てのバラマキや減税ではなく、社会保障とベーシックサービスを充実させる福祉社会こそ今めざすべきではないか。

## 総会に寄せられたメッセージ

東京都退職教職員協議会第 49 回総会おめでとうございます。連帯のご挨拶を送ります。

岸田政権は昨年末、安保 3 文書を閣議決定し、国会にはかる前に米国を訪問してバイデン大統領に報告しました。今年の国会は本当にひどい国会でした。防衛費を GDP の 2%にするといいつつ、何に使うのか、どういう事態が想定されるのかという質問にも、岸田内閣は答えませんでした。一方で沖縄の基地強化、ミサイル配備の動きは進行し続けています。会期末には財源確保法が成立しました。防衛産業強化法を成立させ、さらに自公両党は国会閉幕後に「殺傷能力のある武器の輸出解禁」を密室の解釈だけで行おうとしています。

今、マイナンバーカードの返納は相次ぎ、財源確保法や入管難民法、さらには少子化対策の財源の先送りなどにも批判が高まっています。私たちは、生活と人権を踏みにじるこれらの法や動きに反対します。また、戦争の被害に巻き込まれることにも、日本の武器で人々を殺すことにも反対します。

さらに政府と東電は、福島での約束を反故にして、原発汚染水をこの夏にも海洋投棄しようとしています。風評被害ではなく、恐るべき海の汚染です。海は地球上のすべての場所につながっており、日本だけの被害ではありません。

2023 年 6 月 20 日に世界ジェンダーギャップ指数が発表され、日本は 146 国中 125 位とこれまでの最低順位に落ち込みました。他の国々がジェンダー平等にむけて努力する中、日本のあまりの停滞に怒りを覚えます。しかし、ジェンダー平等を願う人々は確実に増えてきています。政治を変えなければなりません。

今国会で、刑法性犯罪規定が改正され、不同意性交罪が全党一致で実現しました。2019 年の性犯罪に関する 4 件の無罪判決に性暴力被害者をはじめとする人々の怒りが爆発し、大きなうねりとなって刑法改正をおし進めました。「同意していない性交は犯罪」、この当たり前すぎるものがようやく法律に反映されたことは、大きな前進です。

防衛費の増大が社会保障費の削減に跳ね返ってくることは明らかです。このような課題山積の中で、都退教協と東京退女教が共に協力し合って進む仲間であることは、本当に心強いことです。年金・医療・介護をはじめとする社会保障を維持・前進させるためにも、共に頑張りましょう。

貴会の第 49 回総会のご盛会を祈念して、メッセージといたします。

2023 年 7 月 5 日  
東京都退職女性教職員の会  
会長 朝倉泰子

# 汚染水海洋投棄は「風評被害」だけの問題ではない

片桐健司

汚染水の海洋投棄が始まった。「科学的根拠に基づいて投棄するので安全だ」「風評被害を心配する漁業関係者にも理解を得られつつある」「なお、被害が出たら保障する」と言いつつの強引な投棄である。

汚染水投棄を心配する多くの人は、「風評被害」があるから海洋投棄に反対しているのだろうか。そうではない。海に放射能が垂れ流しされることに反対しているのだ。「薄めているから大丈夫だ」は何か変だ。海に流せば、どっちみち薄まるのに。基準値をクリアするために薄めてそれが科学的根拠に基づいていると言うが、基準値そのものが安全なのか、説明はなく、安全の保障もない。数字があれば「科学的」であり、科学的なことは正しいことだと、周りに宣伝しているに過ぎない。はっきりしていることは、大量の放射能が今後何十年も海に垂れ流され続けることだ。それが国際的に「安全だ」と言われているにしても、私たちの海が汚されていくことにはかわりはない。海洋投棄の根本問題は、地球をどう守るのか、命をどう守るのか、私たちの子孫をどう守るのか、にある。

気になるのは、マスコミがこぞって、その反対の根拠を「風評被害」としてしかとりあげていないことだ。「風評被害」を受ける生産者や関係者を守らなければいけないのは当然であるが、問題は、いつのまにか風評被害がなくなれば汚染水投棄は正しいかのような報道がされていることだ。「汚染水」とも言わず、「処理水」という表現で、「安全だ」

「科学的根拠がある」と、マスコミのほとんどは口を揃えている。あるテレビ番組を見ていたら少しましなコメンテーターが「汚染水」について「放射能が・・・」と言いだしたらアナウンサーがあわてて話をそらしていた。言論統制がしかれているかと思えるほどの切り替えだった。中国が日本の産物の不買

運動を始めたり、中国から妙な電話がかけてきたりしたら、待ってましたとばかりに、この問題を中国批判のニュースに切り替え、海洋投棄の問題をすり替えている。

原発のもつ危険性はずっと言われてきたが、大震災で本当にそうになった。「原発は安全です」と言っていたが、「予想通り」に、事故は起きた。そのままいけば日本列島には誰も住めなくなるほどの事故だったが、奇跡的にあの程度でとどまった。それでも大変な事故だった。多くの人が福島を追われ、放射能の危険、人体、自然への影響は未だに続いている。

それにもかかわらず、原発は再稼働されている。放射能のゴミはどうするのか。地球は宇宙船と言われる。水も空気も食べ物も自然の循環の中で保たれている。その循環を壊すものを持ち込んだら、宇宙船には住めなくなる。原子力、核は、まさにそういうものなのだ。宇宙船地球号を守るために、核、原発は止めなければならない。汚染水を海に流すなどとんでもない。人の力ではどうしようもないことをやってはいけない。

このコラムを書き上げた頃、農産大臣が「汚染水」と発言して問題になった。「失言」を撤回して福島の人に謝るように首相から言われた。マスコミの記者たちも、その大臣の「失言」を問題にしていた。謝るのは、言葉を間違えたからではなく、汚染水を海に流していることではないのか。大臣は正直に事実を言っただけだ。いよいよこの国も真実を言えない国になった。また、関東大震災100年、朝鮮、中国人虐殺100年のこのとき、官房長官は「朝鮮人虐殺はなかった」と堂々と言っている。記録も証言も残されている事実を「なかった」と、これまた大ウソを平気でついている。史実、事実を曲げる時代になったのか。いよいよ「戦前」になった。



## 囲碁大会、参加者が少なくて残念でした。

9月29日、恒例の都退教協、都高退、生きがい支援協会共催の囲碁大会が開催されました。都退教協の常連の参加者が体調不良などで参加できなくて残念でしたが、囲碁を楽しむ一日を過ごすことができました。優勝は、福嶋さん(ABリーグ)、西澤さん(Cリーグ)でした。

### 会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

会費を納入してくださった方々（敬称略）

森谷憲光、安部東明、

カンパしてくださった方々（敬称略）

森谷憲光、安部東明、

・10月7日現在

### 川柳

川柳は「ぼやく」のではなく「闘う」歌だ

「維新」と「国民」弱いものいじめに味方するな 中村光夫

### 亡くなられた方

山中宇田子さん

ご冥福をお祈りいたします。

### 編集後記

- ◇ 長く辛かった猛暑も過ぎ、やっと秋。急な冷え込みに体調を崩さぬようご自愛ください。脂ののった安価な秋刀魚が恋しいですが、猛暑の影響で米や果物に被害が出ていて実りの秋も心配です。
- ◇ まだ会費を納入されていない方に振り込み用紙を同封させていただきました。もし、行き違いなどありましたらご容赦ください。
- ◇ 秋の交流会は、紅葉の鎌倉散歩です。11月下旬が一番見ごろだと、鎌倉在住の中村さんの弁。昼食も混んでいる店よりも紅葉を見ながらお弁当がいいそうです。皆さんにお会いするのを楽しみにしています。
- ◇ ウクライナとガザのパレスチナの人々が命の危機にさらされています。即時停戦を呼びかける世界中の声も届かず、暴力が大手を振っている姿に暗澹とします。これに乗じて日本の軍拡をさらに進め、アメリカの盾になろうとすることは、私たちがウクライナやパレスチナの民と同じ危機に追い込む結果を招くのではないのでしょうか。

(谷口記)